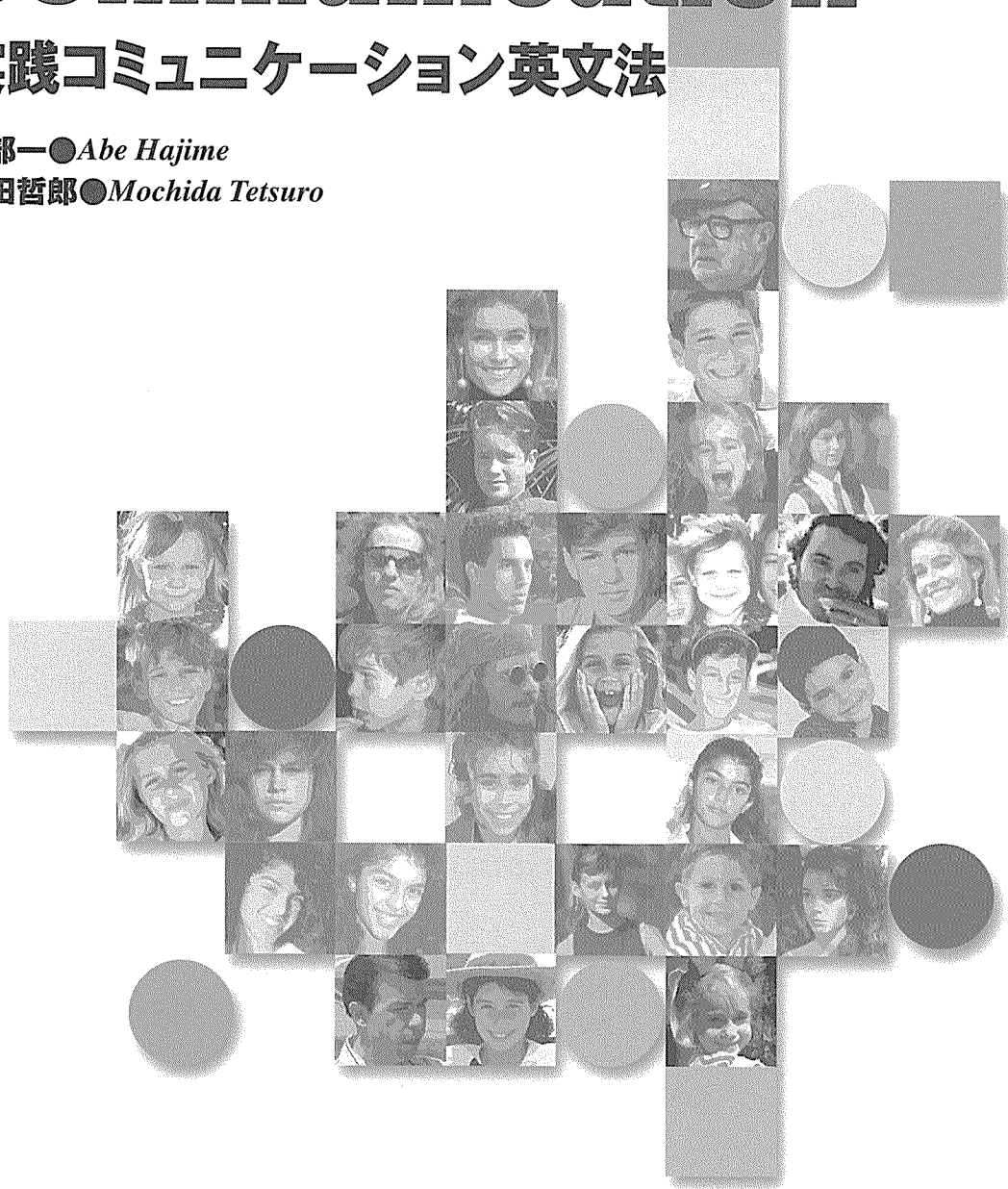


Practicing Grammar for Communication

実践コミュニケーション英文法

阿部一●*Abe Hajime*

持田哲郎●*Mochida Tetsuro*



はじめに

現在、本格的なグローバル化時代を迎えて「使える英語」に対するニーズが世界的に高まっています。その事情はわが国の場合にはよりいっそう切実です。そのため、いま日本の英語教育は中・高・大を問わず「コミュニケーション重視の指導」を旗印に教育改革が進められています。そして、その目標は「**コミュニケーション能力 (communicative competence) の習得**」ということになります。

「コミュニケーション能力の習得」を成功させようとしたとき、私たちはどのような指導法・学習法をとるにせよ、**絶えず二つの面からチェックしていくことが大切です**。それは自分の気持ちを自分なりの英語で堂々と伝えられる**発信型の「たくましさ」の側面**と、コミュニケーションは相手や周りがある**はじめて成立するという相互行為型の「しなやかさ」の側面**です。そして、これらを上手くバランスをとって機能させるためには「**滑らかさ (fluency)**」と「**正確さ (accuracy)**」という問題をいつでも意識して考えていく必要があります。すなわち、実践上、先ほど述べた習得を成功させるためにはこの二つの問題をうまく噛み合わせていく必要があるというわけです。

たとえばこれまで批判されてきた日本の受験英語は、正確さの面が出すぎてその結果、あまりにも瑣末な言語現象まで学習者に強要するような異様な英語教育が行われてきました。

また、その反動として行われてきているコミュニケーション重視の英語教育は、もう一つの面である滑らかさを前面に出してきたことはいいのですが、教室内の自由なコミュニケーション活動を重視するあまり、次第にその「**おおらかさ**」が出すぎになってしまっているようです。極端にいうと、何も強要しない、誤りも大目に見るなどの傾向から、下手をすると「**何でもあり**」の英語教室が続出してしまっているわけです。こうなると、ことばを使ったコミュニケーションでもっとも重視されるべき「**通じること (intelligibility)**」も脅かされ、意味の交換もまともにできないという事態が生じてきます。そこで、「**やはり、文法をやらないと…**」と文法書に立ち戻ることとなります。

もちろん、文法書はこの問題だけで必要なわけではありません。わたしたち大人が外国語を学習するといったときには、音や文字に何度も接して慣れることも大切ですが、実は「**なるほど、そういう仕組みなのか**」と納得しながら知識を増やしていくことこそが**重要**です。大人が子どもに英語学習で勝つためには、英語の単語でも文法でもある現象を「**おやっ?**」と思うきっかけを自ら絶えず作り出し、「**なぜだろう?**」という疑問を感じ、それらに答えてくれる文法書や辞書で調べてみて「**なるほどそうなのか**」と納得し、その上で、「**そういえば、こんなこともあったなあ**」と他の現象や知識と結びつけ、**有機的に発展させていくこと**です。

この文法書は小さなものですが、筆者たちはそのいい「さすが」となればという思いで作りました。今回はスペースの関係もあり、「**コミュニケーション能力**」の核となる文法では**最も重要とされる動詞を中心に扱いました**。その意味で興味のある人は本書の親ともいえる、阿部一著『ダイナミック英文法』（研究社）もぜひ、合わせて一読していただけたらと思います。読者の皆さんが本書を積極的に活用して「**コミュニケーション能力の核としての文法力**」を身に付けていただくことをお祈りしています。

阿部 一

CONTENTS

- UNIT 1 動詞は文の中心として働く / 6
- UNIT 2 「与える」「伝える」という意味の動詞の特徴 / 10
- UNIT 3 「置く」「運ぶ」という意味の動詞の特徴 / 14
- UNIT 4 「見る」「聞く」「感じる」という意味の動詞の特徴 / 18
- UNIT 5 「思う」「分かる」という意味の動詞の特徴 / 22
- UNIT 6 「させる」という意味の動詞の特徴 / 26
- UNIT 7 「～するように伝える・命令する」という意味の動詞の特徴 / 30
- UNIT 8 動詞を使うときは「時制」が大事 / 34
- UNIT 9 未来を表現するときのいろいろな工夫 / 38
- UNIT 10 進行形は時間の幅を表し、途中を表す / 42
- UNIT 11 完了形は2つの時点をつなぐ働きをする / 46
- UNIT 12 完了進行形は2つの時点をつないで、まだ続く状況を表す / 50
- UNIT 13 助動詞は主語に対する話し手の気持ちを表す / 54
- UNIT 14 助動詞は対人関係の潤滑油 / 58
- UNIT 15 助動詞を使い分けるには可能性の度合いに注目する / 62
- UNIT 16 「助動詞 + have + 過去分詞」の形式と使い方 / 66
- UNIT 17 基本的な能動文と受動文の使い方 / 70
- UNIT 18 受動文で使う「前置詞 + 名詞」に注意しよう / 74
- UNIT 19 wh-で始まる語を名詞の働きをする文のつなぎとして使う / 78
- UNIT 20 接続詞を名詞の働きをする文のつなぎとして使う / 82
- UNIT 21 名詞の働きをする意外と便利な準動詞 / 86
- UNIT 22 名詞をさらに詳しく説明していく表現工夫 / 90

UNIT 1

動詞は文の中心として働く

TRACK
01

A. 動詞と名詞

英語の単語は意味や使い方によって、「品詞」と呼ばれるいくつかのグループに分けることができます。品詞のなかでも重要なのが「動詞」です。

動詞 → 状態・出来事・行為を表す
[状態を表す動詞] be, know, like
[出来事を表す動詞] get, open, come
[行為を表す動詞] play, study, help

動詞が表す出来事や行為や状態はそれだけを単独で見たりすることはできません。「飛ぶ」とか「食べる」などは〈人〉や〈モノ〉が飛んだり食べたりしているからこそ見ることができるのです。このような状況を表すには別の単語が必要で、ここで用いられるグループが「名詞」です。

名詞 → 人、物、事の名前を表す
[人を表す名詞] girl, father, student
[物を表す名詞] apple, desk, water
[事を表す名詞] party, accident, success

こうしたことから、英語の文は動詞と名詞で成り立つと考えることができます。

B. 英語の最重要文型

| | | | | |
|---------------|---|--------------|---|-----------------|
| People | | speak | | English. |
| 名詞 | + | 動詞 | + | 名詞 |
| ↓ | | ↓ | | ↓ |
| 主語 (S) | | 述語動詞 (V) | | 目的語 (O) |

数ある英語の文型の中で、最も典型的なものが上のような語順です。

| | |
|---------------------------------|-------------|
| I bought a book. | (私は本を買った) |
| He entered a university. | (彼は大学に入った) |
| She met her boyfriend. | (彼女は彼氏と会った) |
| I like movies. | (私は映画が好きです) |

TRACK
02

研究コーナー

次の会話例を見てみましょう。

(クルマ好きの2人の会話)

A : I bought a new car.

B : Really? I bought one, too. What kind of car did you buy?

A : I bought a Toyota. What about you?

B : I bought a BMW.

広告拝見！

sell の使い方に注意して、意味を考えてみましょう。
また発音の練習にもなるので何度も声に出して言ってみましょう。

She sells sea shells.



◆◆ Exercise ◆◆

【1】 次の英文で使われている名詞と動詞を指摘しなさい。

1. Mother watered the flowers in the garden.

名詞： _____

動詞： _____

2. Iron has a lot of uses.

名詞： _____

動詞： _____

3. Mary and John don't want to shop on Saturday.

名詞： _____

動詞： _____

4. The party should make an early start.

名詞： _____

動詞： _____

5. Ken telephoned Yuko to come as soon as she could.

名詞： _____

動詞： _____

【2】 次の日本語を、与えられた動詞と名詞を使って英語にしなさい。

1. 私は毎日公園を散歩します。(take, park)

_____.

2. その言葉は私には意味不明でした。(make, word)

_____.

3. ワールドカップが来年開かれます。(take, games)

_____.

4. 一杯やりましょう。(have, drink)

_____.

5. 列車は大宮に停車します。(make, stop)

_____.



【3】 次の英文を名詞や動詞に注意しながら、自然な日本語になるように訳しなさい。

Sakura mochi of the Kansai region is made from a small couscous-like pasta made from glutinous rice (*mochi gome*). This rice pasta originated in a temple called *Domyoji* outside of Fujiidera in Osaka, so it's called *Domyoji* or *Domyoji-ko*. To use it you must first reconstitute the *Domyoji* in hot water and then steam it to soften it.

* Domyoji : 道明寺 * Fujiidera : 藤井寺 (市)